

報道関係各位

2026年3月16日
株式会社インテージリアルワールド

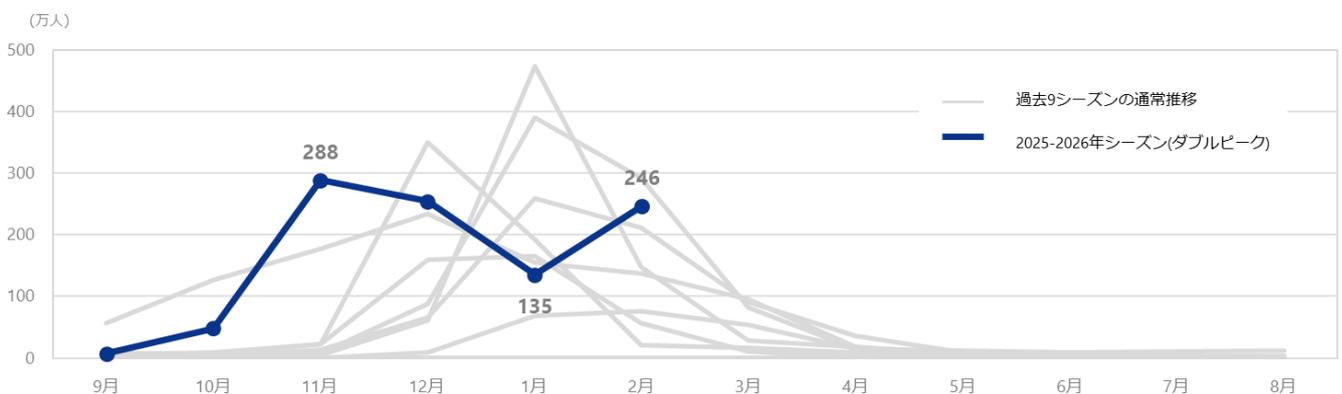
インフルエンザ患者数が異例の「ダブルピーク」 2月の処方患者数は直近数年で最多水準の246万人に急増

医療情報分析サービスを提供する株式会社インテージリアルワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤暢章）は、独自に運用する統合医療データベース「Cross Fact」のデータを基に、医療用医薬品の処方動向を分析しました。

2025年秋口からいち早く流行の兆しを見せた今シーズンのインフルエンザですが、年を越してもその勢いは衰えず、医療機関の逼迫や職場・学校での集団感染が継続して報告されています。複数の株が時期をずらして流行している可能性も指摘される中、直近の感染状況を正確に把握すべく分析を行ったところ、例年とは大きく異なる傾向が確認されました。

2025-2026年シーズンのインフルエンザ流行は、過去9シーズンの通常推移とは異なる異例の動きを見せています。当社の分析によると、2025年11月に一度目の大きなピーク（約288万人）を迎えた後、2026年1月には約135万人まで減少したものの、2月に入り再び患者数が急増し、約246万人に達しました。1シーズン中に2度の大きな流行の波が訪れる「ダブルピーク」の様相を呈しています。

■過去10年のインフルエンザ治療薬 推計処方患者数推移

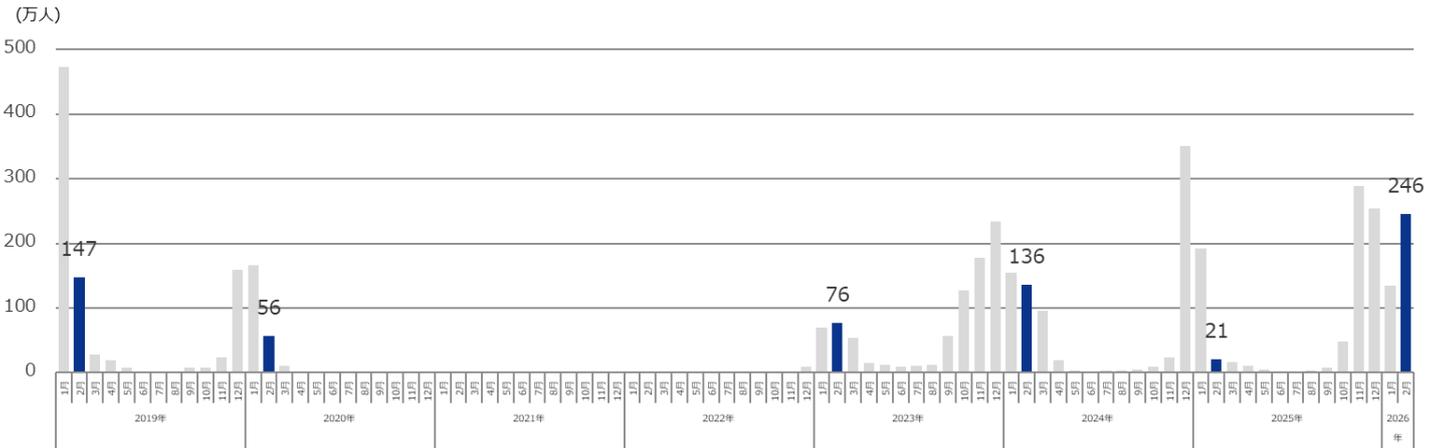


出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、バロキサビルを処方された患者を対象として分析

さらに、2月のインフルエンザ治療薬の推計処方患者数を過去と比較すると、コロナ禍前の2019年2月が147万人、近年で患者数が多かった2024年2月が136万人でした。今シーズン（2026年2月）の246万人という数値は、前年同月（2025年2月：21万人）の10倍以上となり、直近数年間の中でも突出して多い水準となっています。11月の第一波とは異なる株が流行している可能性などもあり、今後の動向に引き続き警戒が必要です。

■インフルエンザ治療薬 推計処方患者数推移



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、バロキサビルを処方された患者を対象として分析

まもなく新年度を迎え、人の移動が活発になるシーズンとなります。今後もインテージリアルワールドでは Cross Fact を活用し、感染症の動向を迅速に捉え、タイムリーな情報発信を続けてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社インテージリアルワールド ソリューション企画部 鹿島田

Eメール: pr-irw@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社インテージリアルワールド 会社概要

会社名 : 株式会社インテージリアルワールド

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005 年 7 月 14 日

資本金 : 1 億 8,825 万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

株式会社インテージリアルワールドは、国内最大級の医療リアルワールドデータベースを運用するリーディングカンパニーです。設立以来、「医療消費者」視点を重視し培ってきた医療リアルワールドデータの知識や分析・加工技術を基に、マーケティングデータや研究用データを製薬企業や研究機関へ提供しています。2020 年 7 月、インテージグループ内ヘルスケアセグメント事業会社から医療リアルワールドデータを当社に集約。それらを活用して新たなソリューションを開発し、よりタイムリーに多様な職種の方々に直接お届けしていくことで、医療リアルワールド業界のファストブランドを目指します。

URL : <https://www.intage-realworld.co.jp/>